

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ルナネスト
------	-------

公表日 2026年 3月 11日

利用児童数 23人

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2		1	こどもたちが安全に、活動できるよう怪我予防に努め、環境設定をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	1		少ないと思っています 保護者の皆様や指導員同士の情報共有大切に、適切な支援が効果的に行えるよう連携を重視していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1			バリアフリー化はよく分かりません (余暇時間とトレーニングの)部屋が分かれて良い こどもたちが教室のルールを理解しやすいように、必要に応じて掲示物による視覚支援を実施しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1			こどもたちが安全に清潔に過ごせるよう清掃記録を取り、衛生的な環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			毎月の研修や、職員間の情報共有により、どの職員も同じような支援ができるよう工夫しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				こどもたちの成長した箇所と課題箇所とを日々共有する事で、教室全体として支援していく内容を話し合っています。年度毎に月の療育スケジュールを検討しなおします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1			保護者様のニーズと、お子様のニーズを組みあわせ、専門的な根拠を交えた支援計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1			職員全員で会議を行い、お子様に最適な支援が効果的に実施できるよう、指導員それぞれの知識を合わせた支援計画を作成していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				療育後の記録作成時や日々の振り返り時に支援目標の確認を行っており、支援の方向性が揃うよう工夫をしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				同じ療育テーマであっても、こどもたちの事を第一に考え、楽しみながら支援目標が達成できるようなプログラムを熟考しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	4	2	より多くの場所で活動があると良い イベントや臨時で行う外出時に、公園などで地域のこどもたちも交えた活動を行う事があります。外部事業者と連携し、様々な体験に繋がる機会を設定します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				より情報が伝わりやすくなるよう、伝え方の工夫や資料の作成をしております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				より情報が伝わりやすくなるよう、伝え方の工夫や資料の作成をしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	3	2	あると良いと思う 保護者の皆様へのニーズを第一に、家族支援プログラムや、研修会等を提供する機会を模索していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				lineや電話、連絡帳等を用いてお子様の状況をいち早く共有する為のツールを複数用意しています。面談も随時受けやすくなるよう、周知を行います。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2			6ヶ月に1度の定期面談に加え、ご希望の方に向けて申込制の面談、電話相談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1	大切なお子様の成長に助力させていただく立場として、保護者の皆様のごころに寄り添った支援を心掛けます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	6	4	3	保護者・兄弟間での交流の機会が設けられるよう、皆様のニーズを大切にしつつ探索していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1	月毎の出席希望欄下部に、面談や電話相談の希望が記入できる他、ラインや連絡帳等でもご連絡できるようにしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13			1	送迎時のご連絡は安全面への配慮をさせていただいておりますが、お電話やライン等で情報共有ができるようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14				ブログを毎日更新する他、HPやSNSにて子どもたちや療育の様子をお伝えできるよう尽力します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				お子様の顔や、学校等個人が特定されることのないよう、ほかしたうで掲載します。また保護者の皆様へ事前の同意を取り配慮を行います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1			年に2度職員間で訓練を行う他、マニュアルの作成を行っています。ブログ等での周知も引き続き行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1			「避難訓練ウィーク」を設け、防災知識の体験的学習や、緊張感を持った避難訓練を実施し、緊急時に子どもたちの安全を確保できるようにしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		1	最も早く情報が伝達できる手段で、状況の説明を適切にお伝えいたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				今後も子どもたちが安心して通えるよう、余暇時間と療育のかかわりにメリハリをつけてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			子どもたちの事を第一に考え、子ども同士でのかかわりが自然に増える環境設定と共に、状況に応じた支援をしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2			お子様との貴重な時間を一緒にさせていただけることに感謝し、様々な経験から成長へと繋がるよう、工夫をしながら支援させていただきます。